

千葉県少年少女オーケストラ

第23回定期演奏会 音楽監督:佐治薫子

指揮
井上道義

©Orchestra Ensemble Kanazawa

ピアノ
小曾根 真

©大杉幸平



第21回定期演奏会 (2017年3月26日)

2019 **3.30** (土) 14:00開演 **千葉県文化会館 大ホール** 全席指定1,000円
(消費税込み)

ショスタコーヴィチ 交響曲 第1番 へ短調 Op.10

モーツァルト ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271 「ジュノーム」

伊福部 昭 管絃樂のための「日本組曲」から「盆踊」「七夕」「^{ねぶた}倭武多」



公益財団法人
千葉県文化振興財団

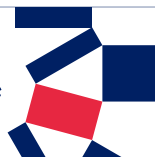


文化庁

【プレイガイド】インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>
千葉県文化会館 043-222-0201
千葉県東総文化会館 0479-64-2001
※未就学児の入場はご遠慮ください

主催:千葉県 / 公益財団法人千葉県文化振興財団
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) / 独立行政法人日本芸術文化振興会
お問合せ:公益財団法人千葉県文化振興財団 千葉県少年少女オーケストラ事務局 TEL:043-222-0077

文化
オリンピックアード



井上 道義 (指揮) Michiyoshi Inoue

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督、大阪フィル首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年、ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015年、全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)を総監督として指揮し、10都市14公演の巡回公演を大成功へと導いた。2017年、大阪国際フェスティバルにて「バーンスタイン：ミサ」を自身23年ぶりに総監督(演出兼任)として率い、壮大で唯一無二な舞台を作り上げたと各方面にて非常に高い評価を受けた。2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。自宅にアヒルを飼っている。
オフィシャルサイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>

小曽根 真 (ピアノ) Makoto Ozone

1983年パークリー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビューを果たした。
以来、ソロ・ライブをはじめゲイリー・バートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界的なトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いてのツアーなど、ジャズの最前線で活躍している。
また、クラシックにも本格的に取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの協奏曲の演奏でも大きな注目を集める。2014年にはニューヨーク・フィルのソリストに抜擢され、韓国、日本、ニューヨーク公演で共演。同年、サンフランシスコ交響楽団にも招かれ、米国でも躍進を続けている。2016年には、チック・コリアとの日本で初の全国デュオ・ツアーを17年にはバートンのファイナル・ツアーとなるデュオ公演やスラットキン指揮デトロイト響とのツアーで大成功を収めた。
オフィシャルサイト <http://makotoozone.com/>

千葉県少年少女オーケストラ (管弦楽)

1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成された。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土日を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。
演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演も多く、これまでに米国、韓国、ドイツ、ブルガリアで演奏会を行い、好評を博した。また、多数のテレビ番組にも出演。特に2006年放送の「にんげんどキュメント」は全国的に大きな反響を呼んだほか、「どれみふぁワンダーランド」、「題名のない音楽会」にも出演。さらに、2012年にはNHK総合、BSプレミアムで放送された、山田洋次監督50周年記念番組のバックミュージックを担当するなど活動の幅を広げている。
2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。
最近の活動としては、2016年、3月に行われたオーケストラ結成20周年記念、第20回定期演奏会では、下野竜也氏の指揮、東京オペラシンガーズの合唱、ベテランのソリストを迎え、ベートーベンの「第九」を演奏し、節目の年の最後を華やかに飾った。また、2017年の第21回定期演奏会では井上道義氏の指揮でベートーベンの交響曲第4番を演奏、この4番をもってベートーベンの交響曲全9曲の演奏を果たした。2018年の第22回定期演奏会では下野竜也氏の指揮、菊池洋子氏のピアノで、ベートーベンのピアノ協奏曲第4番で共演、また、ブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」を演奏するなど、充実した活動を続けている。

佐治 薫子 (音楽監督)

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業。同年君津市立松丘中学校勤務。リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。1966年から船橋市立前原小学校へ転任。リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年、市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。
退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督に就任した。2006年4月放映のNHK「にんげんどキュメント ～がんこ先生とぼくらのハーモニー～」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放送された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演(2010年3月1日再放送)、また、2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」コーナーにおいてその指導法が紹介された。2017年2月にはNHK「ラジオ深夜便」に出演し、これまでの指導方針について話をするなど、テレビ・ラジオの出演も多数。公益財団法人千葉県文化振興財団特別参与。

【主な受賞】 サントリー地域文化賞(1988)／千葉県教育功労賞(1989)／市川市民栄誉賞(1992)／国際ソロプチミスト賞(1993) 習志野市「教育文化功労表彰」(1994)／国際ソロプチミスト「社会貢献賞」【全国表彰】(1995)／習志野市市政功労賞(1996) 千葉県文化功労表彰(1997)／千葉キワニスクラブ「教育文化奨励賞」(1997)／NHK関東甲信越地域放送文化賞(2005) 音楽教育功労賞【全国表彰】(2008)／地域文化功労者表彰【全国表彰】(2016) 他

【出版されている本】 森 玲子 著「バッハ先生と1000人の子どもたち」CD付き(D.ブレイン)／森 玲子 著「ひろがれぼくらのハーモニー」(講談社) 他

